

# 鑑定評価書（令和 6 年地価調査）

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社まるい鑑定所
久米島(県) - 2	沖縄県	沖縄	氏名	不動産鑑定士 大嶺 克成

鑑定評価額	2,340,000 円	1 m <sup>2</sup> 当たりの価格	4,930 円 / m <sup>2</sup>
-------	-------------	-------------------------	--------------------------

## 1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 6 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 6 年 7 月 3 日	(6) 路線価	[ 令和 6 年1月 ] 路線価又は倍率 倍率種別	円 / m <sup>2</sup> 1.1 倍
(2) 実地調査日	令和 6 年 6 月 27 日	(5) 価格の種類	正常価格			
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

## 2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等	島尻郡久米島町宇江城後原 7 9 0 番				地積 ( m <sup>2</sup> )	475	法令上の規制等
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況	接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況	都計外	
	1.2 : 1	住宅 R C 1	中規模の農家住宅が多い農村集落地域	南 4 m 町道、東側道	水道	宇江城公民館前停 150 m	(その他)	
(2) 近隣地域	範囲	東 80 m、西 160 m、南 40 m、北 80 m			標準的使用	戸建住宅地		
	標準的画地の形状等	間口 約 25 m、奥行 約 20 m、			規模	500 m <sup>2</sup> 程度、形状 長方形		
	地域的特性	特記事項	特記すべき事項はない。	街路	基準方位北 4 m 町道	交通施設	宇江城公民館前停 北東方 150 m	法令 都計外 規制
	地域要因の将来予測	当該地域は、外部からの流入が見込めず市場性が低いため地価は長期的に下落傾向が認められる。しかし、下限値に近づいていると判断され、昨年よりも下落率は低下した。						
(3) 最有効使用の判定	戸建住宅地				(4) 対象基準地の個別的要因	方位角地	+3.0 +1.0	
(5) 鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格	4,930 円 / m <sup>2</sup>					
	収益還元法	収益価格	/ 円 / m <sup>2</sup>					
	原価法	積算価格	/ 円 / m <sup>2</sup>					
	開発法	開発法による価格	/ 円 / m <sup>2</sup>					
(6) 市場の特性	同一需給圏は、久米島町の既成住宅地域である。主たる需要者は、住宅取得目的の当該地域に地縁のある個人と推定される。当該地域は、外部からの流入が見込めず市場性が低いため地価は長期的に下落傾向が認められる。しかし、下限値に近づいていると判断され、昨年よりも下落率は低下した。主たる価格帯は、5,000円 / m <sup>2</sup> 前後であり、総額では250万円前後となっている。							
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	比準価格は、久米島町内の事情補正の無い既成住宅地域の取引事例を基に求めたものであり、市場実態を反映した実証的なものである。当該地域が戸建住宅地域であり、収益性を価格判定の指標にする地域ではないことや、賃貸市場が未成熟であることなどから収益還元法は適用しなかった。本件においては比準価格を採用し、一般的要因からの検証を行い、鑑定評価額を上記のとおり決定した。							
(8) 公規価示準格と格しをた	代表標準地 標準地	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の標準価格 ( 円 / m <sup>2</sup> )	内 街路 標準 交通 化 環境 補 画地 正 行政 その他	
	公示価格 円 / m <sup>2</sup>	[ ] 100	100 [ ]	100 [ ]	[ ] 100		地 街路 域 交通 要 環境 因 行政 その他	
(9) 指か定ら基の準検地討	指定基準地番号	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の標準価格 ( 円 / m <sup>2</sup> )	内 街路 標準 交通 化 環境 補 画地 正 行政 その他	
	前年指定基準地の価格 円 / m <sup>2</sup>	[ ] 100	100 [ ]	100 [ ]	[ ] 100		地 街路 域 交通 要 環境 因 行政 その他	
(10) 対年象標の基準検準価討地格の等前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 4,950 円 / m <sup>2</sup>		価 変 動 形 状 成 況 要 因 の	( 一 般 的 要 因 )	直近の久米島町の人口は減少傾向が続いている。高齢化率についても増加傾向である。			
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討			( 地 域 要 因 )	戸建住宅が建ち並ぶ既成集落であり、特に地域要因の変化はない。			
	代表標準地 標準地 標準地番号 公示価格 円 / m <sup>2</sup>			( 個 別 的 要 因 )	変動はないが、価格に影響する個別的要因は、方位(南)、角地がある。			
変動率 年間 -0.4 % 半年間 %								

# 鑑定評価書（令和 6 年地価調査）

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社まるい鑑定所
久米島(県) - 3	沖縄県	沖縄	氏名	不動産鑑定士 大嶺 克成

鑑定評価額	7,710,000 円	1㎡当たりの価格	12,100 円/㎡
-------	-------------	----------	------------

## 1 基本的事項

(1)価格時点	令和 6 年 7 月 1 日	(4)鑑定評価日	令和 6 年 7 月 3 日	(6)路線価	[令和 6年1月]	円/㎡
(2)実地調査日	令和 6 年 6 月 27 日	(5)価格の種類	正常価格	路線価又は倍率	倍率種別	1.1 倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

## 2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1)基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等	島尻郡久米島町字比嘉比嘉 3 1 番				地積 (㎡)	637	法令上の規制等
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況	接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況	都計外	
	2:1	住宅 RC 1	農家住宅が多い中に一般住宅も見られる住宅地域	南西4.5 m 町道、三方路	水道、下水	山城スーパー前停 260 m	(その他)	
(2)近隣地域	範囲	東 300 m、西 200 m、南 50 m、北 50 m		標準的使用	戸建住宅地			
	標準的画地の形状等	間口 約 25 m、奥行 約 20 m、規模 500 ㎡程度、形状 長方形						
	地域的特性	特記事項	役場近くの住宅地	街路	基準方位北 4.5 m 町道	交通施設	山城スーパー前停 南西方 260 m	法令
(3)最有効使用の判定	戸建住宅地				(4)対象基準地の個別的要因	方位 三方路 +2.0		
(5)鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格	12,100 円/㎡					
	収益還元法	収益価格	/ 円/㎡					
	原価法	積算価格	/ 円/㎡					
	開発法	開発法による価格	/ 円/㎡					
(6)市場の特性	同一需給圏は、久米島町の既成住宅地域である。主たる需要者は、住宅取得目的の個人と推定される。島内において市場性が高い既成住宅地域である。役場、バス停、商業施設に近く利便性が高いため、地価も下落傾向が多い久米島町の住宅地の中で上昇しているものの上昇幅は昨年よりも縮小した。主たる価格帯は、12,000円/㎡前後であり、総額では700万円前後となっている。							
(7)試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	比準価格は、久米島町内の事情補正の無い価格帯が比較的上位の既成住宅地域の取引事例を基に求めたものであり、市場実態を反映した実証的なものである。当該地域が戸建住宅地域であり、収益性を価格判定の指標にする地域ではないことや、賃貸市場が未成熟であることなどから収益還元法は適用しなかった。本件においては比準価格を採用し、一般的要因からの検証を行い、鑑定評価額を上記のとおり決定した。							
(8)公価表示価格と格しをた	代表標準地 標準地	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の標準価格 (円/㎡)	内訳	街路 交通 環境 画地 行政 その他
	公示価格 円/㎡	[ ] / 100	100 [ ]	100 [ ]	[ ] / 100			地域 交通 環境 行政 その他
(9)指か定ら基の準検地討	指定基準地番号	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の標準価格 (円/㎡)	内訳	街路 交通 環境 画地 行政 その他
	前年指定基準地の価格 円/㎡	[ ] / 100	100 [ ]	100 [ ]	[ ] / 100			地域 交通 環境 行政 その他
(10)対年象標の基準検準価討地格の等前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 12,000 円/㎡		価格変動状況 要因	(一般的要因)	直近の久米島町の人口は減少傾向が続いている。高齢化率についても増加傾向である。			
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討 代表標準地 標準地 標準地番号 公示価格 円/㎡			(地域要因)	戸建住宅が建ち並ぶ既成住宅地域であり、地域要因に特に変化はない。			
変動率 年間 +0.8 % 半年間 %				(個別的要因)	変動はないが、価格に影響する個別的要因は、方位(南東)、三方路がある。			

鑑定評価書（令和 6 年地価調査）

Table with 5 columns: 基準地番号, 提出先, 所属分科会名, 業者名, 株式会社まるい鑑定所. Values include 久米島(県) - 4, 沖縄県, 沖縄, 氏名, 不動産鑑定士 大嶺 克成.

Table with 4 columns: 鑑定評価額, 6,640,000 円, 1㎡当たりの価格, 11,900 円/㎡.

1 基本的事項

Table with 6 columns: (1)価格時点, (2)実地調査日, (3)鑑定評価の条件, (4)鑑定評価日, (5)価格の種類, (6)路線価, [令和 6年1月], 円/㎡, 1.1 倍.

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

Main table with multiple rows (1) through (10) detailing land characteristics, valuation methods, and market analysis. Includes sub-tables for (5) valuation methods and (8) (9) comparison of prices.

鑑定評価書（令和 6 年地価調査）

Table with 5 columns: 基準地番号, 提出先, 所属分科会名, 業者名, 株式会社まるい鑑定所. Values include 久米島(県) - 5, 沖縄県, 沖縄, 氏名, 不動産鑑定士 大嶺 克成.

Table with 4 columns: 鑑定評価額, 3,540,000 円, 1㎡当たりの価格, 8,000 円/㎡.

1 基本的事項

Table with 6 columns: (1)価格時点, (2)実地調査日, (3)鑑定評価の条件, (4)鑑定評価日, (5)価格の種類, (6)路線価, [令和 6年1月], 円/㎡, 1.1 倍, 更地としての鑑定評価.

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

Main table with 10 rows (1) to (10) detailing land characteristics, valuation methods, and market conditions. Includes sub-tables for (2) 近隣地域, (5) 鑑定評価の手法の適用, and (8) 公規価示標準格.

# 鑑定評価書（令和 6 年地価調査）

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社まるい鑑定所
久米島(県) 5 - 2	沖縄県	沖縄	氏名	不動産鑑定士 大嶺 克成

鑑定評価額	4,940,000 円	1 m <sup>2</sup> 当たりの価格	18,500 円 / m <sup>2</sup>
-------	-------------	-------------------------	---------------------------

## 1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 6 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 6 年 7 月 3 日	(6) 路線価	[ 令和 6 年1月 ] 路線価又は倍率	円 / m <sup>2</sup>
(2) 実地調査日	令和 6 年 6 月 27 日	(5) 価格の種類	正常価格	倍率種別		1.1 倍
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

## 2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等	島尻郡久米島町字鳥島鳥島原 2 9 8 番				地積 ( m <sup>2</sup> )	267	法令上の規制等
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況	接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況	都計外	
	1.2 : 1	店舗兼住宅 R C 2	低層の小売店舗等が建ち並ぶ近隣商業地域	北東7 m 県道	水道、下水	新生ばし前停100 m	(その他)	
(2) 近隣地域	範囲	東 90 m、西 0 m、南 30 m、北 30 m			標準的使用	低層店舗兼住宅地		
	標準的画地の形状等	間口 約 17.5 m、奥行 約 15.5 m、規模 270 m <sup>2</sup> 程度、形状 長方形						
	地域的特性	特記事項	旧来の商業地域	街路	7 m 県道	交通施設	新生ばし前停北西方 100 m	法令 都計外 規制
(3) 最有効使用の判定	低層店舗兼住宅地				(4) 対象基準地の個別的要因	ない		
(5) 鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格	18,500 円 / m <sup>2</sup>					
	収益還元法	収益価格	/ 円 / m <sup>2</sup>					
	原価法	積算価格	/ 円 / m <sup>2</sup>					
	開発法	開発法による価格	/ 円 / m <sup>2</sup>					
(6) 市場の特性	同一需給圏は、久米島町内の商業地及び混在地域である。需要者は、店舗兼住宅等の取得を目的とする個人である。旧仲里村のイーフビーチ付近の商業地域に比較し、長期的に地価下落が傾向が見られた商業地域であるが、近年なかった当該地域の土地の取引がみられ地価は横ばい傾向に変化しているものと判断される。中心となる価格帯は、18,500 円 / m <sup>2</sup> 前後、総額では500万円前後と判断される。							
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	比準価格は、町内の商業地及び商住混在地の取引事例に、適切に補修正や比較を行って得たもので、市場における取引実態を反映した規範性が認められる価格が得られた。当該地域が、自己使用目的の取引が主であり、賃貸市場が未成熟であることなどから収益還元法は適用しなかった。本件においては比準価格を採用し、一般的要因からの検証を行い、鑑定評価額を上記のとおり決定した。							
(8) 公規価示標準地と格しをた	代表標準地 標準地	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の規準価格 ( 円 / m <sup>2</sup> )	内 街路 標準 交通 補正 行政 画地 環境 其他	
	公示価格 円 / m <sup>2</sup>	[ ] / 100	100 [ ]	100 [ ]	[ ] / 100		地 街路 域 交通 要 環境 行政 其他	
(9) 指か定ら基の準検地討	指定基準地番号	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の規準価格 ( 円 / m <sup>2</sup> )	内 街路 標準 交通 補正 行政 画地 環境 其他	
	前年指定基準地の価格 円 / m <sup>2</sup>	[ ] / 100	100 [ ]	100 [ ]	[ ] / 100		地 街路 域 交通 要 環境 行政 其他	
(10) 対年ら象標の基準検準価討地格の等前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 18,500 円 / m <sup>2</sup> - 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討			価格変動形状要因	(一般的要因)	直近の久米島町の人口は減少傾向が続いている。高齢化率についても増加傾向である。		
	代表標準地 標準地 標準地番号 公示価格 円 / m <sup>2</sup>				(地域要因)	低層店舗兼住宅を中心とする商業地である。地域要因に特に変化はない。		
変動率		年間 0.0 %	半年間 %	(個別的要因) 個別的要因に変化はない。				